

栄養施策に関連する各種事業について



厚生労働省健康局 がん対策・健康増進課
栄養指導室

健康日本21(第2次)策定時に、栄養・食生活に 関して整理された今後必要となる対策

- ① 栄養・食生活の格差の実態を把握する仕組みづくり
- ② 科学的根拠に基づいた栄養や食生活に関する基準及び指針の策定
- ③ 科学的根拠に基づいた有効な政策・対策
- ④ 新たな主体による取組を促進する仕組みづくり
- ⑤ モニタリングシステムの構築
- ⑥ 専門領域で求められる高度な人材育成

厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会・次期国民健康づくり運動
プラン策定専門委員会「健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料」
(平成24年7月) P.100-101

①栄養・食生活の格差の実態を把握する仕組みづくり

<平成25年～28年国民健康・栄養調査 調査計画>

調査項目	調査テーマ				
	H24 大規模年	H25	H26	H27	H28 大規模年
身体計測	地域格差	各種基準に関わる実態把握	所得格差	社会環境の整備状況	地域格差
身体状況					
問診					
血圧					
血液検査					
栄養・食生活					
身体活動・運動					
休養					
喫煙					
飲酒					
歯の健康					
その他(高齢者、所得等)					

詳細については「国民健康・栄養調査企画解析検討会(平成25年4月17日(水)開催)」の資料4をご参照ください。
(URL: <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r985200000300cg-att/2r985200000300h3.pdf>)

3

所得格差の把握(平成26年国民健康・栄養調査)

平成22年国民健康・栄養調査において、初めて「所得」に関する項目を追加
→日本人における所得による健康・栄養状態や生活習慣の差を把握

平成24年度～平成26年度
厚生労働科学研究費補助金(3年計画)
「日本人の食生活の内容を規定する社会経済的要因に関する実証的研究」

(研究代表者:新潟県立大学 村山伸子教授)

<研究目的>

- 1) 日本人の食生活に影響する社会経済的要因の有無と程度を明らかにする
- 2) 日本人におけるフードセキュリティ(食物の安定した入手)の把握のための指標の開発を行う

平成26年国民健康・栄養調査の調査・解析の目的

- ① 所得による生活習慣等の状況の違いを明らかにする
- ② 健康診断の受診状況と、所得・健康状態・生活習慣等の違いを明らかにする
- ③ フードセキュリティの実態とその所得・食物摂取状況との関連を明らかにする

地域格差の把握(平成24年国民健康・栄養調査)

＜平成24年に、都道府県の状況を把握するため、拡大調査*を実施＞

*平成28年・32年にも実施予定

体格(BMI)及び主な生活習慣の状況について、都道府県別に年齢調整を行い、高い方から低い方に4区分に分け、上位(上位25%)群と下位(下位25%)群の状況を比較した結果、BMI、野菜摂取量、食塩摂取量、歩数、現在習慣的に喫煙している者の割合(男性)で、それぞれ上位群と下位群の間に有意な差がみられた。

	全国平均	都道府県の状況	
		上位群	下位群
1. BMIの平均値(kg/m²)			
男性(20～69歳)	23.6	24.2	23.1
女性(40～69歳)	22.5	23.3	22.0
2. 野菜摂取量の平均値(g/日)			
男性(20歳以上)	297	332	264
女性(20歳以上)	280	310	253
3. 食塩摂取量の平均値(g/日)			
男性(20歳以上)	11.3	12.2	10.4
女性(20歳以上)	9.6	10.3	8.8
4. 歩数の平均値(歩/日)			
男性(20～64歳)	7,791	8,308	6,829
女性(20～64歳)	6,894	7,295	6,278
5. 現在習慣的に喫煙している者の割合(%)			
男性(20歳以上)	33.2	37.9	28.5

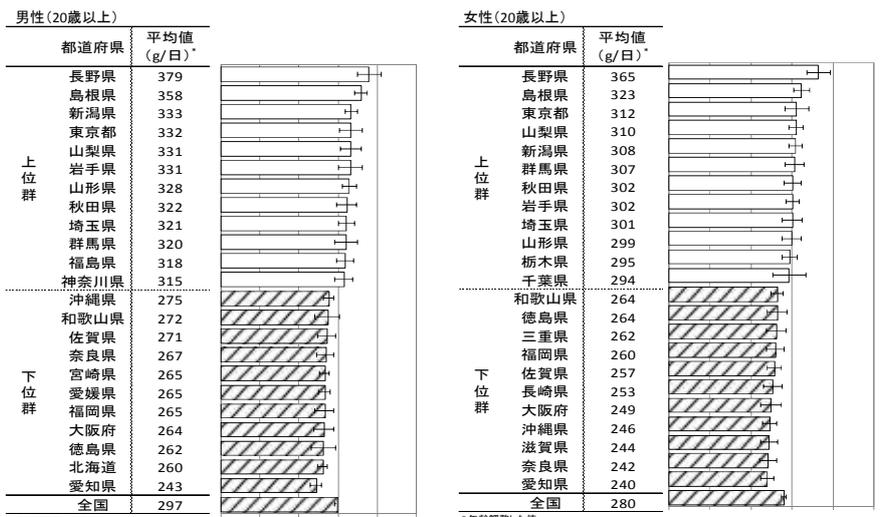
※比較に用いた値は、各指標の年齢区分における平均年齢で年齢調整を行った値である。

(資料:厚生労働省「平成24年国民健康・栄養調査」(<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000032074.html>))

5

＜参考＞都道府県の状況(野菜摂取量の平均値)

成人の野菜摂取量の平均値は、上位(上位25%)群と下位(下位25%)群で、男性68g/日、女性57g/日の地域格差がみられた。



*年齢調整した値
*小数第1位を四捨五入
※順位については小数第2位の値まで用いて評価
※男女計の平均年齢56歳に年齢調整

*年齢調整した値
*小数第1位を四捨五入
※順位については小数第1位の値まで用いて評価
※男女計の平均年齢56歳に年齢調整

(資料:厚生労働省「平成24年国民健康・栄養調査」(<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000032074.html>))

6

②科学的根拠に基づいた栄養や食生活に関する基準及び指針の策定

食事摂取基準普及研修事業 【平成26年度予算 30百万円】

対象者

栄養評価・栄養管理の業務に携わる管理栄養士、医師等保健医療関係者

開催時期及び開催場所(予定)

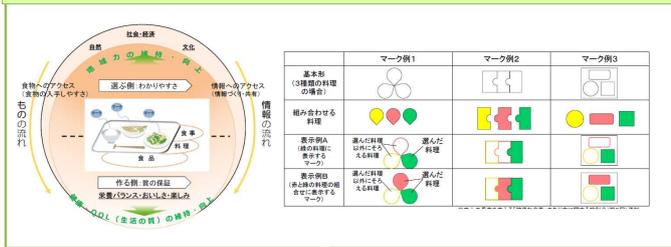
- 開催時期
10月～12月
- 開催場所
北海道, 宮城, 東京, 愛知, 大阪, 岡山, 福岡

研修内容と達成目標

- ① 食事摂取基準(2015年版)の意義について
→ 食事摂取基準の意義を理解する。
- ② 食事摂取基準(2015年版)の基本的事項について
→ 指標の目的や設定方法などの基本的事項と限界を理解する。
- ③ 食事摂取基準(2015年版)の改定について
→ 改定方針や改定内容と限界を理解する。
- ④ 食事摂取基準(2015年版)の活用について
→ 食事摂取基準の活用方法と栄養評価・栄養管理での展開を理解する。

②科学的根拠に基づいた栄養や食生活に関する基準及び指針の策定

日本人の長寿を支える「健康な食事」の基準、マークの普及



ヘルシーメニューの提供に取り組む店舗数の増加

↓ヘルシーメニューが選手権 【平成26年度食育白書 紹介事例】



<栃木県>

↓ 職員食堂での取組 →



<宮崎県日南市>



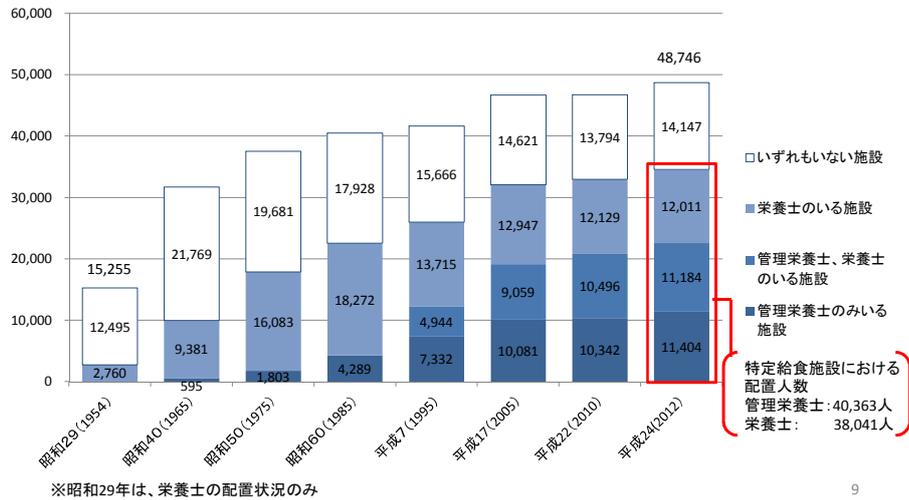
<兵庫県伊丹市>

食環境の整備

③科学的根拠に基づいた有効な政策・対策

特定給食施設における栄養管理状況の把握及び評価に基づく指導・支援

< 集団・特定給食施設における管理栄養士・栄養士配置施設の推移 >



< 特定給食施設における指導・助言件数 >

	平成15年度	平成24年度
指定施設	3,039施設	2,824施設
指導・助言件数（管理栄養士配置）	462件	279件
（栄養管理）	2,164件	2,978件
指定施設以外の特定給食施設	43,217施設	45,922施設
指導・助言件数（栄養管理）	24,736件	33,726件

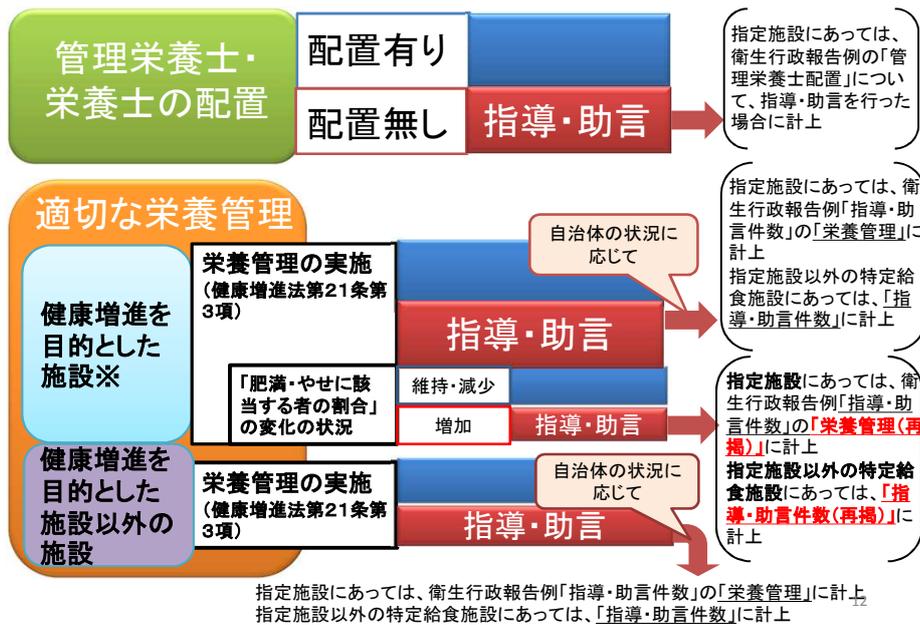
出典：衛生行政報告例

健康日本21(第二次)「栄養・食生活」の目標項目 ▶ 今後の見通し

目標項目	利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加
現状	(参考値) ・管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 70.5%(平成22年度) ・ 管理栄養士・栄養士を配置している施設+管理栄養士・栄養士を配置していない施設において肥満及びやせに該当する者の割合が増加していない施設の割合
目標	80% (平成34年度)
データソース	厚生労働省「衛生行政報告例」

- 平成25年度から衛生行政報告例において把握することになった「調理師」の配置を、管理栄養士・栄養士の配置とともにあわせて評価することについては、実際の配置状況を確認しつつ、今後中間評価等において検討。
- 栄養の評価、改善については、健康増進を目的とした施設において、
(1)管理栄養士・栄養士の配置状況
(2)肥満及びやせに該当する者の割合 で評価。

栄養管理の評価と指導・支援の方法(案)



肥満及びやせに該当する者の判定・評価方法

○ 成人(18歳以上)

BMI(Body Mass Index)を用いて、「日本肥満学会(2000年)による肥満の判定基準」により判定

肥満: 25.0以上 やせ: 18.5未満

○ 幼児(3歳以上6歳未満)

幼児身長体重曲線(性別・身長別標準体重)*を用いた評価方法

肥満: +15%以上 やせ: -15%以下

* 2000年値による式を優先するが、2010年値による式でも可

* 早見表及び判定用の簡易ソフトをホームページにて公表

(<http://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/hatsuiku/>)

○ 児童・生徒(6~17歳)

学校における健康診断結果を用いて肥満傾向児及びやせ傾向児の割合を算出(評価)

肥満: +20%以上 やせ: -20%以下

13
13

※健康増進を目的とした施設

衛生行政報告例 第12表、第13表の施設分類において該当する施設

- 学校
- 児童福祉施設
- 事業所
- 寄宿舍

<参考> 健康増進を目的とした施設以外の施設

病院	医学的管理を目的とした施設
介護老人保健施設	主に高齢者を対象とし、個別的な栄養管理が重視される者を対象とした施設
老人福祉施設	主に高齢者を対象とし、個別的な栄養管理が重視される者を対象とした施設
社会福祉施設	個別の栄養管理が重視される者を対象とした施設
矯正施設	関係省庁との調整結果、対象外とする施設
自衛隊	関係省庁との調整結果、対象外とする施設
一般給食センター	対象者の把握が困難な施設
その他	対象者の把握が困難な施設

特定給食施設における「肥満並びにやせに該当する者の割合」の把握状況について(照会結果)

【平成26年7月24日時点 139自治体回答/141自治体】

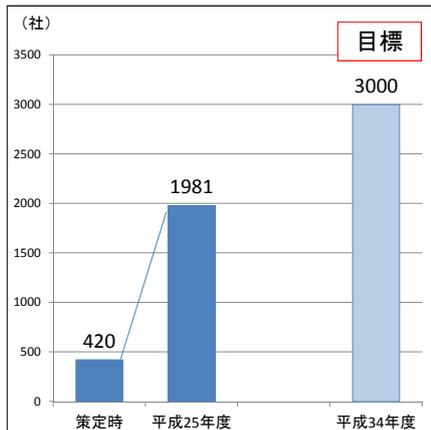
◆平成26年度(今年度)特定給食施設において、「肥満並びにやせに該当する者」の把握を行っている(行う予定である)自治体

135自治体(4自治体は、平成27年度より把握予定)

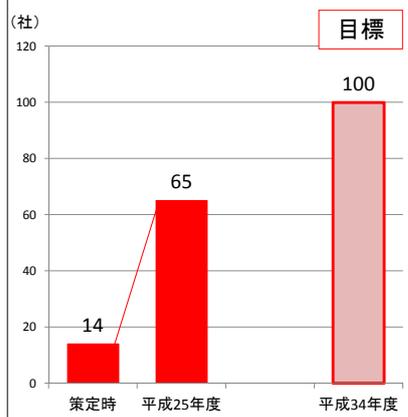
④新たな主体による取組を促進する仕組みづくり

スマートライフプロジェクト

＜スマートライフプロジェクトの参画企業数＞



＜食品中の食塩や脂肪の低減に取組み
スマートライフプロジェクトに登録のあった企業数＞



「健康日本21(第二次)」栄養・食生活 目標:
食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数の増加

15

④新たな主体による取組を促進する仕組みづくり

第2回 健康寿命をのばそう！アワード

生活習慣病予防の啓発活動、健康寿命の延伸を目的とする、
優れた取組を行っている企業・団体・自治体を表彰。

【最優秀賞】 (株)タニタ

【優秀賞 企業部門】 (株)大和証券グループ本社
【優秀賞 団体部門】 東京都職員共済組合
【優秀賞 自治体部門】 呉市(広島県)

【優良賞 企業部門】
エムサービス(株) / (株)グローバルダイニング /
(株)フジクラ・フジクラ健康保険組合 / 第一生命保険(株) /
ローソン健康保険組合

【優良賞 団体部門】
であい村 蔵ら／くまもと禁煙推進フォーラム / 日本対がん協
会 / 愛知県健康づくり振興事業団 / JA山梨厚生連健康管理セ
ンター

【優良賞 自治体部門】
大府市(愛知県) / 坂戸市(埼玉県) / 小豆島町(香川県) /
妙高市(新潟県) / 和光市(埼玉県)



企業部門 厚生労働省健康局長 優良賞

【メタボリケア】「メタボリCare」(低エネルギー・低コレステロール・
高食物繊維を基本としたバランスの良いセットメニュー)の推進
【発行者】 エムサービス株式会社
【所在地】〒107-0052 東京都港区赤坂3-1-1 アールビルフロントタワー
【URL】<http://www.aimservices.co.jp/business/bds.html>
【Eメール】aim@aimservices.co.jp

【商品】メタボリCareは、エネルギー640kcal程度 / コレステロール100mg
以下 / 野菜・海藻・豆120g以上 / PFC比(P15~20%・F20~25%・C50~
60%) / 食物繊維を豊富に含有しています。選りすぐりのベストメニュー
は、一日三餐を基本としたサイクル8019(お弁当スタイル)のCare 4
you Lunchは、基本15分(ランチ)で当地シリーズ12分(ランチ)の2タイプが用意
されています。両タイプの食事でも、お風呂メニューとして提供されています。
若年世代の食育は、自身の高年齢期として次世代の健康に大きな影響を及
ぼすため、この一歩の取組により、健康寿命をのばすことに貢献できる
ものと考えています。
当社は、今後も若年世代への食育のみならず、乳幼児期から高齢期まで、
生涯にわたるLife Stageに応じたサポート／食育を推進させ、様々な場面で
【食】を提供し続ける企業の社会的責任として、【食】から日本の未来を支えます。

第3回 健康寿命をのばそう！アワード 【現在、募集中】

- 応募期間
平成26年7月1日(火)~8月29日(金)
- 募集部門
①企業部門 ②団体部門 ③自治体部門
- 応募対象
生活習慣病予防の啓発活動、健康寿命をのば
すことを目的とする、優れた取組を行っている
企業・団体・自治体
(URL: <http://www.smartlife.go.jp/>)

第1回
**健康寿命をのばそう！
アワード2012**

健康寿命をのばそう!
Smart Life Project



健康寿命をのばそう!
Award
2012

**健康寿命をのばそう!アワード
受賞プロジェクト事例の紹介より**

http://www.smartlife.go.jp/img/award/award_winner2013.pdf

プロジェクト 水産練り製品における美味しい減塩商品の開発と積極的販売活動の推進

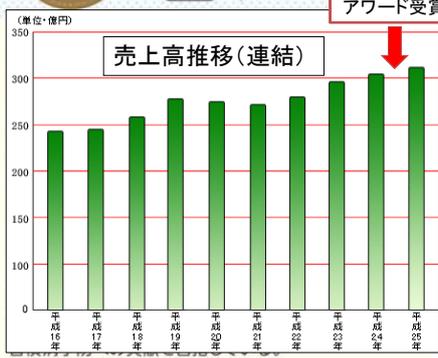
受賞者 一正蒲鉾株式会社

所在地 〒950-8735 新潟県新潟市東区津島屋 7-77 電話 025-270-7111
URL <http://www.ichimasa.co.jp> E-mail ichimasa@oden.ne.jp

優良賞

（単位：億円）

売上高推移（連結）



年度	売上高 (億円)
平成16年	240
平成17年	245
平成18年	260
平成19年	280
平成20年	275
平成21年	275
平成22年	280
平成23年	295
平成24年	305
平成25年	315



http://www.ichimasa.co.jp/co_guidance_sales.htm 17

④新たな主体による取組を促進する仕組みづくり

栄養ケア活動支援整備事業（平成24年度～） 【平成26年度予算 40百万円】

■事業の目的・概要

増大する在宅療養者に対する食事・栄養支援を行う人材が圧倒的に不足していることから、在宅での栄養ケアを担う潜在管理栄養士等の人材確保及び関係機関、関係職種等と連携した栄養ケアを行う民間団体を支援し、在宅療養者への栄養ケアの体制を整備する。

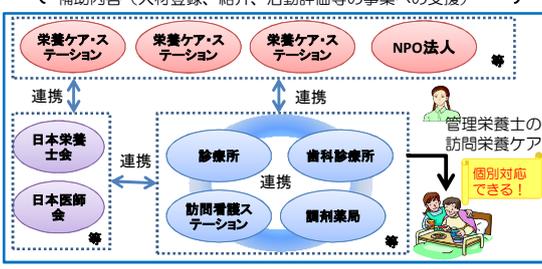
■事業の公募要件

- ・自治体と連携し、地域における在宅療養者・居宅要介護者の栄養ケアの状況を把握していること。
- ・管理栄養士の雇用を考えている施設の登録事業を含んでいること。
- ・紹介事業により地域での栄養ケア活動の促進が期待されるものであること。

...など

厚生労働省

〔 公益法人等向け（公募方式）
補助内容（人材登録、紹介、活動評価等の事業への支援） 〕



<期待される効果> 潜在管理栄養士・栄養士の確保及び在宅療養者、居宅介護者には、きめ細やかな栄養ケアサービスの提供が可能となる。

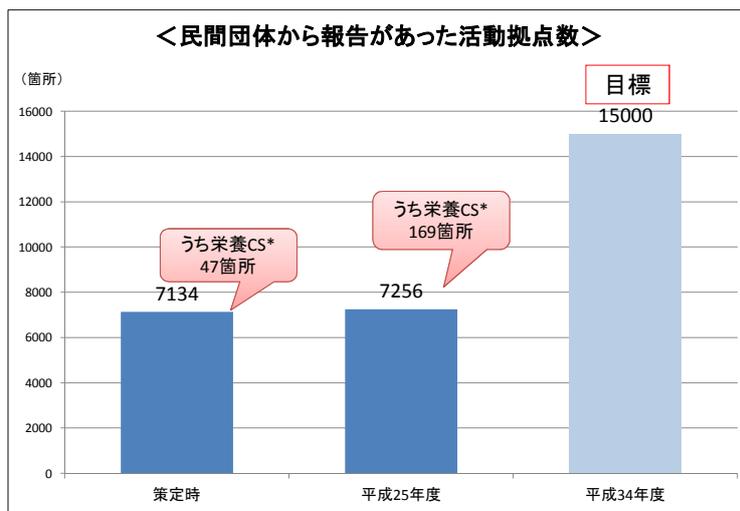
18

＜栄養ケア活動支援整備事業 採択例＞

平成24年度		平成25年度		平成26年度	
東京都栄養士会	調剤薬局を活用した栄養ケア	新潟県栄養士会	行政・医療関係者との連携を強化した栄養ケア	茨城県栄養士会	医療機関や地域包括ケアセンターと連携した栄養ケア
新潟県栄養士会	介護看護ステーションを活用した栄養ケア	三重県栄養士会	社会福祉協議会や介護事業者等と連携した栄養ケア	埼玉県栄養士会	地域包括ケアシステムと連動する栄養ケア
静岡県栄養士会	居宅診療受診者に対する口腔内管理と栄養ケア	岡山県栄養士会	急性期病院から在宅医療につなぐ栄養ケア	新潟県栄養士会	医療・福祉の垣根を越えた在宅訪問栄養ケア
岡山県栄養士会	地域の医療関係機関と連携した栄養ケア	佐賀県栄養士会	サテライトケアステーションを活用した栄養ケア	京都府栄養士会	地域の医療関係者と連携した栄養ケア
佐賀県栄養士会	食事宅配システムを活用した栄養ケア	大分県栄養士会	食事宅配システムを活用した栄養ケア	福岡県栄養士会	地域における訪問歯科診療と連携した栄養ケア
沖縄県栄養士会	離島・過疎地域に対する栄養ケア	沖縄県栄養士会	離島・過疎地域に対する栄養ケア	佐賀県栄養士会	サテライトケアステーションを活用した栄養ケア
				大分県栄養士会	調剤薬局を活用した栄養ケア
				沖縄県栄養士会	離島・過疎地域に対する栄養ケア
				駒沢学園	地域と大学の連携による栄養ケア
6団体		6団体		9団体	

19

健康日本21(第二次)目標:
健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる
民間団体の活動拠点数の増加



20

*栄養ケア・ステーション((公社)日本栄養士会)

⑤モニタリングシステムの構築

健康日本21(第二次)分析評価事業 【平成26年度予算 30百万円】

目的

平成25年度より開始した「健康日本21(第二次)」で設定された目標達成に向け、主要な項目については継続的に数値の推移等の調査や分析を行い、都道府県における健康状態や生活習慣の状況の差の把握に努める必要があることから、独立行政法人国立健康・栄養研究所に委託事業として実施。

事業内容

- 健康日本21(第二次)に関する目標項目について、現状値を更新し、グラフ化するとともに、健康日本21(第二次)の目標策定や食事摂取基準の策定の根拠に用いられている国民健康・栄養調査における主要なデータについての経年変化及び諸外国との比較に関する分析を行い、専用のホームページに掲載する。
- 健康格差に関する基本データとして、国民健康・栄養調査における都道府県別の状況や、都道府県等増進計画の目標及び取組の進捗状況について整理し、専用のホームページに掲載する。**
- そのほか、国民健康・栄養調査の精度向上や利活用促進に必要なデータベースの充実など基盤整備を行う。

厚生労働省に専用のホームページを開設予定(年内予定)

- 国民健康・栄養調査における都道府県別の状況
- 都道府県等増進計画の目標及び取組の進捗状況 など

21

国立健康・栄養研究所のホームページで、現在一部「見える化」

The screenshot shows the website interface for the National Institute of Health and Nutrition. The main content area is titled "健康栄養調査に関する情報のページ" (Page of information related to health and nutrition surveys). It features four regional maps of Japan, each representing the average intake of a specific nutrient by gender and age group. The maps are color-coded to show intake levels across different prefectures.

野菜摂取量の平均値 (野菜摂取量の平均値)	野菜摂取量の平均値 (野菜摂取量の平均値)
男性(20歳以上)	女性(20歳以上)
<ul style="list-style-type: none"> 313(g/日)以上 262~312(g/日) 210~261(g/日) 148~209(g/日) 	<ul style="list-style-type: none"> 264(g/日)以上 227~263(g/日) 200~226(g/日) 160~199(g/日)
食塩摂取量の平均値 (食塩摂取量の平均値)	食塩摂取量の平均値 (食塩摂取量の平均値)
男性(20歳以上)	女性(20歳以上)
<ul style="list-style-type: none"> 11.7(g/日)以上 11.1~11.6(g/日) 10.7~11.0(g/日) 10.0~10.6(g/日) 	<ul style="list-style-type: none"> 10.0(g/日)以上 9.4~9.9(g/日) 8.9~9.3(g/日) 7.8~8.8(g/日)

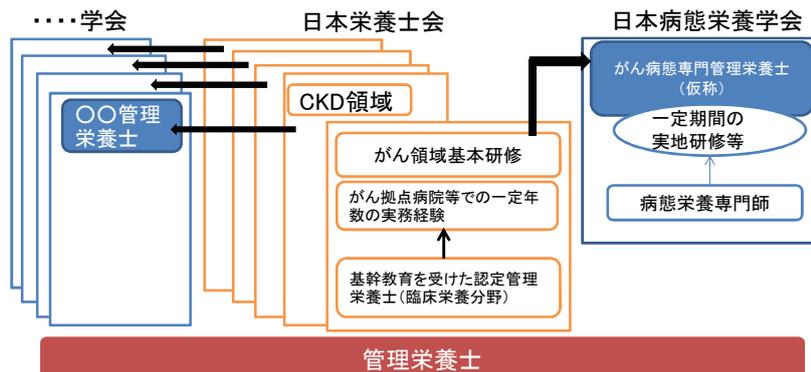
<http://www0.nih.go.jp/eiken/chosa/kenkoeiyo.html>

⑥専門領域で求められる高度な人材育成

▶ 管理栄養士専門分野別育成事業の開始 (平成25年度より日本栄養士会への委託事業)

管理栄養士専門分野別育成事業 【平成26年度予算 20百万円】

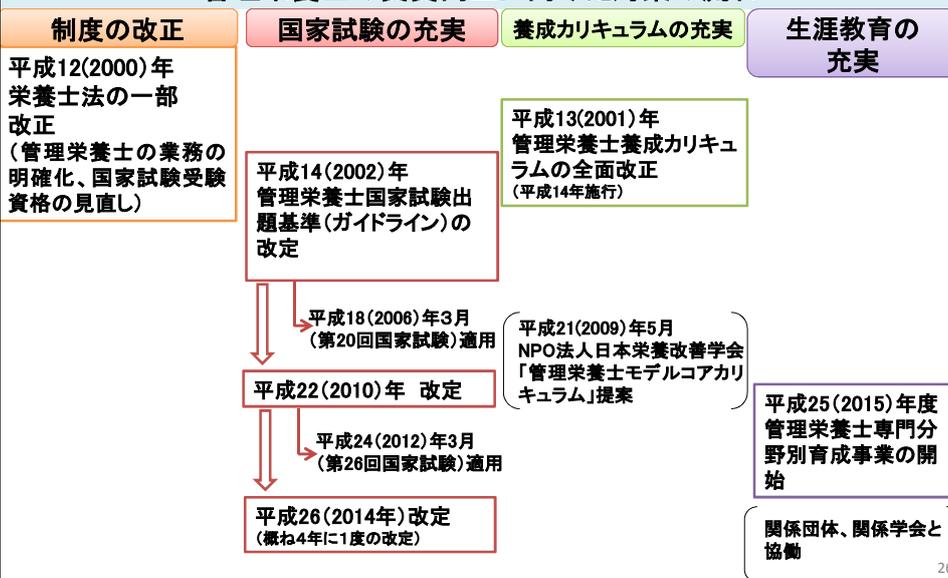
- 高度な専門性を発揮できる管理栄養士の育成を図るため、日本栄養士会への委託事業として、平成25年度から開始。
- 特定の専門分野で一定年数の実務に従事し、自己研鑽に努め、栄養の指導に関する実績を有する者を、生涯教育の一環として認定していくことをねらい。
- 高度な専門技術の獲得には、高度な施設での一定期間の実地研修が不可欠であり、学会との協働でシステム構築を図る。



25

⑥専門領域で求められる高度な人材育成

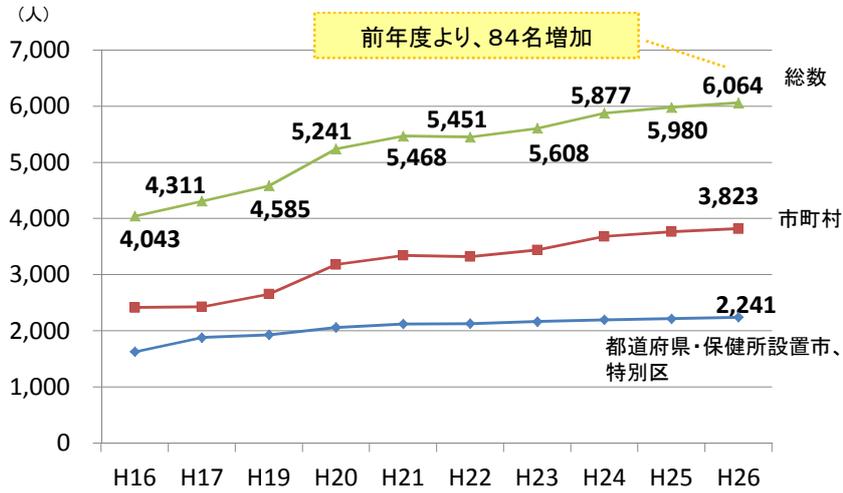
管理栄養士の資質向上に向けた対策の流れ



26

⑥専門領域で求められる高度な人材育成

行政栄養士数の推移【暫定版】



資料：厚生労働省健康局がん対策・健康増進課栄養指導室調べ

※H18は調査実施なし

都道府県別 市町村行政栄養士の配置状況【暫定版】

(平成26年6月1日現在)

都道府県	平成26年度		<参考>平成25年度		都道府県	平成26年度		<参考>平成25年度	
	全市町村数	行政栄養士配置市町村数	行政栄養士配置率(%)	行政栄養士配置率(%)		全市町村数	行政栄養士配置市町村数	行政栄養士配置率(%)	行政栄養士配置率(%)
北海道	175	149	85.1	85.1	滋賀県	18	13	72.2	66.7
青森県	39	26	66.7	69.2	京都府	25	21	84.0	84.0
岩手県	32	31	96.9	100.0	大阪府	37	37	100.0	100.0
宮城県	34	34	100.0	100.0	兵庫県	37	37	100.0	100.0
秋田県	24	18	75.0	70.8	奈良県	38	20	52.6	55.3
山形県	35	29	82.9	82.9	和歌山県	29	14	48.3	44.8
福島県	57	40	70.2	71.9	鳥取県	19	19	100.0	94.7
茨城県	44	44	100.0	97.7	島根県	19	16	84.2	84.2
栃木県	24	24	100.0	92.0	岡山県	25	24	96.0	92.0
群馬県	33	29	87.9	84.8	広島県	20	19	95.0	95.0
埼玉県	61	51	83.6	82.0	山口県	18	18	100.0	100.0
千葉県	51	51	100.0	98.0	徳島県	24	20	83.3	79.2
東京都	37	28	75.7	78.4	香川県	16	15	93.8	93.8
神奈川県	28	22	78.6	75.0	愛媛県	19	19	100.0	100.0
新潟県	29	28	96.6	96.6	高知県	33	21	63.6	63.6
富山県	14	14	100.0	100.0	福岡県	56	48	85.7	82.1
石川県	18	18	100.0	100.0	佐賀県	20	19	95.0	100.0
福井県	17	16	94.1	82.4	長崎県	19	19	100.0	100.0
山梨県	27	21	77.8	70.4	熊本県	44	40	90.9	84.1
長野県	76	70	92.1	88.2	大分県	17	17	100.0	94.1
岐阜県	41	36	87.8	87.8	宮崎県	25	24	96.0	92.0
静岡県	33	30	90.9	90.9	鹿児島県	42	33	78.6	83.3
愛知県	50	43	86.0	86.0	沖縄県	40	31	77.5	77.5
三重県	28	27	96.4	96.4	計	1,647	1,423	86.4	85.3

配置率100%
配置率80%未満

領域別管理栄養士・栄養士の配置状況

	管理栄養士数(人)	栄養士数(人)	管理栄養士・ 栄養士数 計(人)
総数	57,797	58,486	116,283
病院	23,027	14,601	37,628
老人福祉施設	9,019	9,830	18,849
児童福祉施設	3,389	12,968	16,357
学校	7,391	6,913	14,304
介護老人保健施設	4,932	3,960	8,892
行政*	4,887	1,093	5,980
事業所	1,885	2,665	4,550
社会福祉施設	1,512	3,014	4,526
一般給食センター	288	691	979
寄宿舍	263	569	832
自衛隊	177	87	264
矯正施設	72	13	85
その他	955	2,082	3,037

厚生労働省衛生行政報告例（平成24年度）

*厚生労働省健康局がん対策・健康増進課栄養指導室調べ（平成25年度）